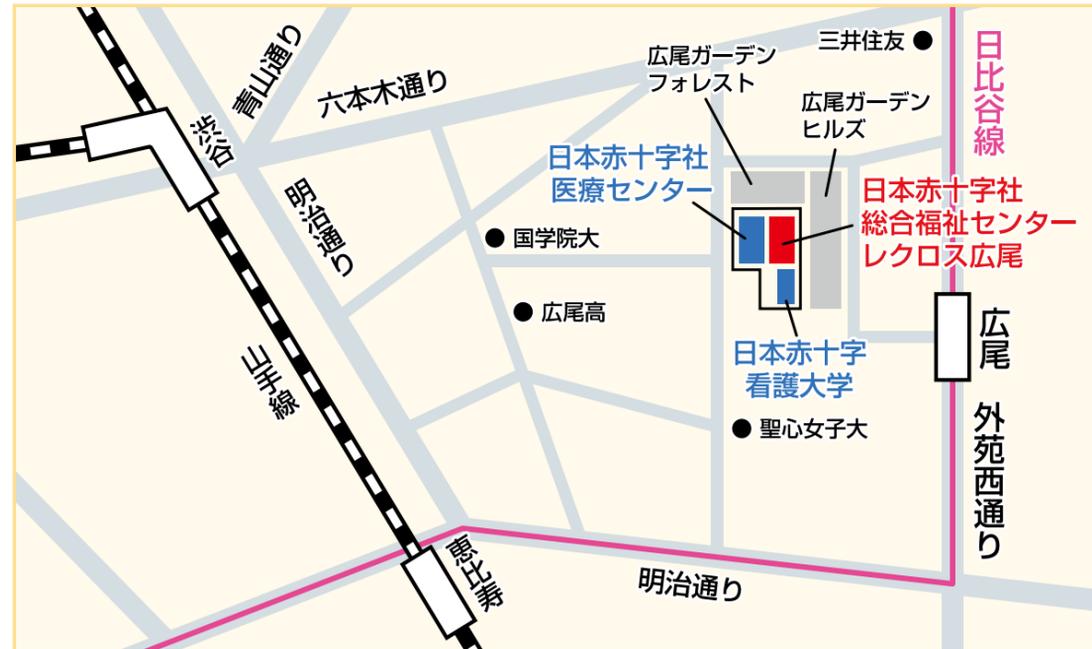


案内図



都営バス	池袋駅東口から「学03」系統：日赤医療センター行き終点(約8分) 池袋駅西口から「学06」系統：日赤医療センター行き終点(約7分)
東京メトロ日比谷線	広尾駅3番出口から徒歩(約15分)

お問い合わせ

日本赤十字社総合福祉センター 高齢者グループホーム レクロス広尾
東京都渋谷区広尾四丁目1番23号

電話：03-6861-4804 FAX:03-6861-4810

MAIL: hiroo@hiroo.jrc.or.jp

※メールの場合は、件名に必ず「施設問合せ」と入力して送信下さい。

URL: <http://hiroo.jrc.or.jp>



施設利用のご案内



日本赤十字社総合福祉センター
高齢者グループホーム
レクロス広尾

日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾

日本赤十字社の使命

私たちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの基本理念

赤十字の基本原則である「人道」の精神にのっとり、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの運営基本方針

- [1] 一人ひとりを大切にし、利用者の視点に立った安心・安全なサービスを提供します。
- [2] 家族・地域社会との連携を図り、地域福祉の向上に努めます。
- [3] 保健、医療、看護、福祉の各種サービスの一体的な提供に努めます。



「レクロス広尾」は、「赤十字」の英訳である Red Cross(レッドクロス)を略して、Re(レ)と Cross(クロス)で「レクロス」となりました。
(レ)は再建、(クロス)は「お役に立ちたい」という意味を含みます。

サービスのご案内

大切に「家族」とのつながり

- ご家族が、いつでも気兼ねなく面会に来ることが出来ます。また、ご自分の居室や談話コーナーで家族水入らずの時間を過ごすことが出来ます。
- ご入居者の施設での様子や出来事をご家族にお知らせします。
- ご家族が参加できる催しを開き、ご家族とのつながりを大切にします。



「地域」との交流

- 地元商店街での買い物やお祭り、様々な催し物に参加し交流することで、地域の方たちと馴染みの関係を築き、社会とのかかわりを持つことを目指します。
- 同じ敷地内にある看護大学の学生、乳児院の子供たちとの交流また、周辺の学校やボランティアとの関わりを通じ生き生きとした生活を送れるようお手伝いします。

家庭的な「食事」

- アイランド式キッチンを囲んで、スタッフやご入居者みなで料理を作ります。買い物や献立作りもみんなが一緒になって考えて行います。
- 食器は、使い慣れたものやお気に入りのものを各自持ち込むことも出来ます。



高齢者グループホーム

『スタッフが一人丸となってあなたの思いを大切にします。』

入居者の皆さま一人ひとりの思いを大切にし、
住みなれた地域で安心した毎日を過ごせるよう私たちが支援します。

施設支援

- 定員：18名（全2ユニット）
- 渋谷区在住の要支援2から要介護と認定され、かつ認知症と診断された方が対象です。他の入居者との共同生活が出来るようお手伝いします。
- 1ユニット9人の小規模単位によるユニットケアです。

心地よい時間と空間に包まれた「入浴」

- ユニット内にあるヒノキ浴槽で香りを楽しみながらご自分の好きな時間に入浴出来るよう努めます。
- 8Fには大型ヒノキ風呂、足湯、気泡風呂があり、普段の入浴とは違った温泉気分を味わうことも出来ます。



季節を感じられる「環境」

- 施設の周りには、桜やハナミズキ、サルスベリなどの庭木が多数植えてあり、自然に触れあったり、季節を感じていただけるよう工夫しています。
- ミニ菜園での野菜作りや、花壇で草花を育てることで生きがいとなり、心身の安定につながられるようにします。



自分で「洗濯」

洗濯スペースにある洗濯機を使って、ご自分で洗濯することが出来ます。また、物干しに洗濯物を干すことも出来ます。一人では出来ない方には職員がお手伝いします。



その人の「暮らし」を支える居住空間

- 床や壁紙も全室異なるよう工夫しました。
- 個室には、馴染みの家具や思い出の品を持ち込むことで、自分らしい部屋にすることが出来ます。（但し、家具等の持ち込みについては事前にご相談ください。）

